

夏休みの過ごし方について(協力依頼)

I. 夏休みの意義

1. 自主的・自律的な生活をする経験を広げ、主体的に健康・安全に気をつける態度を養う。
2. 自分で計画したことをしっかりと行う力を養い、社会体験や自然体験を通して視野を広げる。

II. 夏休みの過ごし方(子どもたちと一緒に確認をし、アドバイスをしてください)

1. 新型コロナウイルス感染の予防をする

- (1) 「うがい・手洗い・咳エチケット」「マスクの着用」を確実に実施する。
- (2) 不要不急の外出は控える。

2. 生活の計画を立てる

- (1) 1日1日どんなことをしたらよいか、家族で計画表を立てる。
- (2) 計画したことは、根気強く、毎日実行する。
- (3) 毎日の出来事を日記に書く。(文章力がつき、1日の反省ができる)

3. 勉強や読書は毎日する(家庭学習の習慣化)

- (1) 午前中や夕方涼しいうちに行く。
- (2) 夏休みの宿題は、計画的に行う。(ドリル、自由研究、絵などの取り組み)
- (3) 1学期前期に学習したことの復習をする(特に、国語・算数)。

4. 安心・安全な生活を心がける

- (1) 携帯電話・スマホ等、ネット環境につながる機器の使い方を家族で再確認する(使用時間を決める)。
- (2) 路上での遊び(危険と思われる場所)は、絶対にしない。
- (3) 自転車は交通ルールを守り、2人乗りはしない(ヘルメットの着用)。
- (4) 午前中、涼しい時間帯に勉強をする(午前中に友達の家には行きません)。
- (5) 遊びに行くときは、行き先、目的、誰と、帰る時刻等を家の人に必ず告げる。
- (6) 子ども達だけの宿泊や友達の家への宿泊はしない。
- (7) 大型スーパー、遊技場、カラオケボックス等に子どもたちだけで行かない。
- (8) 見知らぬ人の誘いには絶対にのらないようにする。「いかのおすし」の確認をする。
- (9) 夜間外出(日没後)は絶対にしない。
- (10) 海・川や山などに行く等の遠出は、必ず大人と一緒に行く。

5. 交通安全には特に気をつける

- (1) 歩くときは右側通行(歩道通行)を心がける。
- (2) 道路の横断は、いつでも安全を確かめて横断歩道を渡る。
- (3) 止まっている車の前後では、遊ばないようにする。
- (4) 信号機の変わり目に、飛び出さないようにする
- (5) 車道の近くでのボール遊び、キックボード遊び、ローラーシューズでの遊び等はしない。

6. 丈夫な体づくりをする(健康生活の習慣化)

- (1) 「早寝、早起き、朝ごはん」を実行させ、朝のラジオ体操に参加する(子ども会で実施する場合)。
- (2) 歯磨き、洗面を毎日、忘れずに行う。
- (3) 三度の食事をしっかりと摂る。
- (4) 食べ過ぎ、飲み過ぎないようにする。
- (5) テレビ視聴やゲーム等の時間が、長くなり過ぎないように家族できまりを作り実行する。
- (6) 外での遊びは、帽子をかぶり、帰ったら手洗い、うがいを忘れずに行う。
- (7) 検診の結果、治療の勧めのあった児童は、休み中に病院で治療する。

7. お手伝いをする

- (1) 子どもでもできる仕事は毎日責任を持って行う。
- (2) 少し難しい仕事でもアドバイスを受けながら、挑戦してみる。

